

高浜市市制50周年記念キャッチフレーズ& 高浜市の未来を表現するシンボルマーク

が決定しました。



シンボルマーク

ちようどいいまち
ちよっといいまち
これまでもこれからも

キャッチフレーズ

キャッチフレーズについて

～キャッチフレーズに込められた思い～

面積13.11㎢と小さなまちだからこそ、気軽に市内を自転車で一周することができます。5つのエリアに足を延ばしてみると、50年の歴史のなかで培われた「ものづくりの伝統」や「おいしいもの」に触れることができます。さらに、交通の便も便利で通勤や日常の買い物にも快適、さまざまな公園もあり住みよさを感じることができるまさにちようどいいまち「地元：高浜」です。このまちを創り続けてきた、50年の歴史を胸に刻み、新しい風を吹き込みながら、この先も進んでいきたいという思いが込められています。

～キャッチフレーズ決定までの経緯～

高浜市市制50周年記念事業を進めるため市役所若手・中堅職員で組織された「職員プロジェクト」で市制50周年を効果的にPRするために、親しみやすく高浜らしいキャッチフレーズを検討しました。

高浜をイメージさせるさまざまな言葉や50年の歴史に想いを巡らし、50個のキャッチフレーズが提案されました。その後、プロジェクトメンバーによる1次選考で3個まで絞り込み、さらに市職員による投票にて決定しました。

このキャッチフレーズを市内外に広く周知し、本市の記念事業を盛りあげていく足掛かりとしていきたいと考えています。



シンボルマークについて

制作者

木村 夏歩さん（沖縄県）

応募総数104点の作品のなかから、職員プロジェクトメンバーによる1次選考、市内全小中学生の投票による2次選考、市長・副市長・有識者（高浜市出身グラフィックデザイナー）による最終選考を経て、上記のシンボルマークが選ばれました。

■制作者の思い■

高浜市が掲げている将来都市像「思いやり支え合い手と手をつなぐ大家族たかほま」を元にデザインしました。人々が手をつないで丸くなっている姿は、協力や希望、明るい未来が連想されます。

またカラフルな色づかいによって老若男女すべての人という多様性を表現しました。人の形は高浜市の「T」をモチーフにしています。

50周年記念ということで、5放射相称のデザインに仕上げました。シンプルのため、白黒でも拡大しても確認性が高いシンボルマークになっています。



高浜市若者会議

※シンボルマークは、市制50周年だけでなく、高浜市の若者支援事業全般のマークとしても使用します。